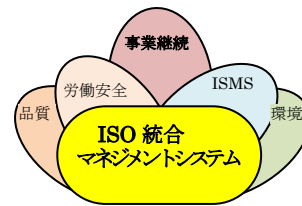


**経営に直結する ISO 再構築の支援をします**

ISO 統合システムの例

- ◆企業価値追求のしくみづくり (統合 ISO)  
顧客本位、社員重視、独自能力、社会との調和
- ◆経営計画を達成する道具、日常業務と定義する  
経営者が考える経営計画を達成するしくみ
- ◆経営者がマネジメントを教える教科書とする  
社員に“考えるエンジン”を付け、自立的行動



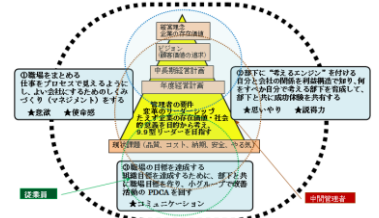
◆ISO は経営に役立つしない

- ・ISO は制度疲労を起こしている
  - ・経営計画と直結していない
  - ・マネジメントを教えるしくみがない
- 形骸化を再構築するチャンス**



◆ISO は 2015 年に大幅改定になります

- ・ISO 規格構造の共通化で業務プロセスの統合
  - ・組織の状況を理解し課題を解決する
  - ・リスクに基づくプロセスアプローチ
- マネジメント力向上、経営に役立つしくみづくり**



問合せ先、見積もり依頼先  
 シスラボ・スエヒロ 代表 末広繁和  
 Tel : 090-1533-2072 [ssyslab@gmail.com](mailto:ssyslab@gmail.com)  
 〒386-0043 上田市下塩尻 405-9

① ISO 要求項目の構造 (MSS 共通構造化)

統合 ISO とは、事業プロセスと ISO を一体化させる  
 ・ISO9001 : 会社をよくする (付加価値確保)  
 ・ISO14001 : 地域に迷惑かけない (環境負荷低減)

統合マニュアル (教科書) の使い方

- ・経営者の想い (経営理念) を実現するマネジメントを教える教科書とする
- ・社員と共に目標を定め、目標達成のための PDCA を回す改善の手順
- ・組織と自分の関係を認識し、自分は何かができるか? 役割を認識する

利害関係者 : 消費者 (顧客)、従業員、株主、債権者、仕入先、得意先、地域社会、行政など

信頼性、透明性、公平性

Plan

方針

- 4. 組織の状況 : MS の結果に影響する外部、内部の課題
- 5. リーダーシップ : 経営者による方針、組織を定める
- 6. 計画 : リスクを明確にし改善目標達成のための計画
- 7. 支援 : 経営資源の提供、文書の管理

Do

8. 運用 : 目的達成のための実施活動

Action

10. 改善 : 不適合部分を改善、計画的改善活動

Check

9. パフォーマンスの評価 : 適合性、有効性を確認評価する

経営者による見直し

ISO マネジメントシステムの評価項目

- 組織の課題解決に役立っているか
- ISO を組織全体で取り組んでいるか
- 一人ひとりの能力が活用されているか
- 改善が決算書に反映しているか
- 管理者がマネジメントを教えているか
- 有効性の内部監査になっているか

### ③ ISO だけでは会社はよくならない。ISO は日常業務と再定義する。

～利益を確保するマネジメントシステムの作り方～

#### 社長のやること

- 利益を社員に教えられること
- ・会社の利益と給料の関係
- ・付加価値を合言葉にする
- ・付加価値を増やす着眼点

- 目標管理のしくみを作る
- ・ISO 統合システムが早道
- ・継続的改善をするしくみ
- ・プロセスで改善着眼点をつかむ

経営者の考えた利益を達成する  
マネジメントシステムを作る  
「筋の通った目標管理のしくみ」

<経営者と社員の協働作業>

- ①、経営ビジョンの作成
- ②、利益シミュレーション
- ③、組織目標作成
- ④、部門目標作成
- ⑤、職場目標、実行計画書作成

- 人に“考えるエンジン”を付ける
- ・自分の案だと感じると人は動く
- ・短時間対話を身に付ける
- ・共有、発散、収束、合意を使う

- 改善の原理原則を教える
- ・5 S (整理、整頓、清掃、清潔、躰)
- ・5 現 (現場、現物、現実、原理、原則)
- ・5 M (人、設備、もの、方法、測定)
- ・7つのムダ (加工、運搬、停滞、検査)

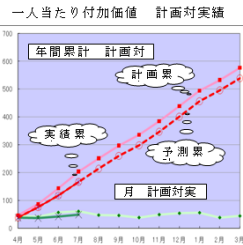
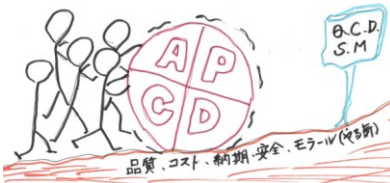
組織力：自分で考える能力を引き出す

組織風土：チームで解決する能力を引き出す

#### ISO 2015 年改訂のポイント

- 1) MS 規格構造の共通化で事業プロセスと統合する  
経営者は、各種 MS (ISO9001、ISO14001、ISO22301、ISO27001、OHSAS18001 など) を組織の事業プロセスに統合する。
- 2) 組織の状況を理解し課題を解決するしくみ  
経営者は、企業内外の課題及び利害関係者のニーズと期待を特定し、MS をどのように使うか決める。
- 3) リスクに基く予防処置 (改善) をプロセスで説明  
目標 (意図した期待される結果) の達成 (パフォーマンス向上重視) をプロセスで説明できるしくみ。

合言葉は“付加価値/人”



### ④ 統合マニュアルは、マネジメント (日常業務) を教えるテキストとして使う

